

家読100選

うちどく



山梨県教育委員会 しなやかな心の育成プロジェクト

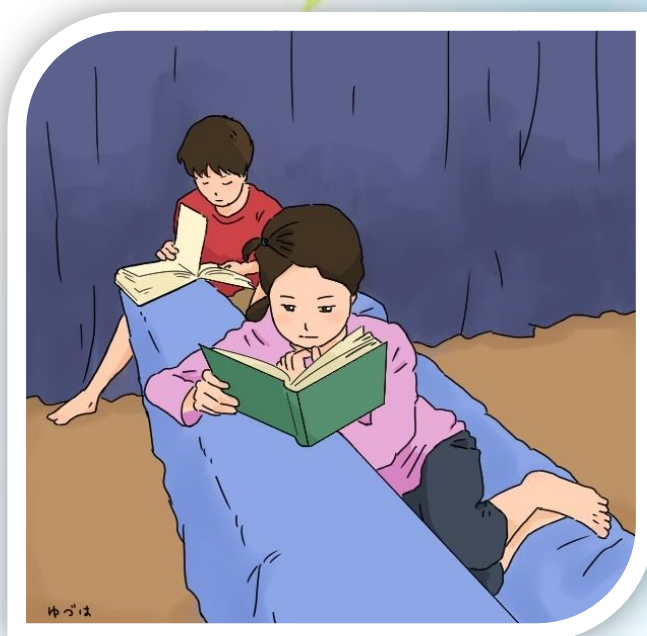
小学校5・6年生向け



家読の思い出

私は、小さい頃から父母に本をたくさん読んでもらいました。絵本はもちろん、中学生や高校生になっても母がおすすめるの本を読んでくれました。字が読めるようになったら、自分で読むようになりました。字が読めるようになったら、自分で読むようになりました。字が読めるようになったら、自分で読むようになりました。

(中澤 穂佳さん)



1. 家族で話し合って「うちどくの日」を決めよう。
2. 我が家の家読スタイルを話し合って決めよう。
3. 家族で話し合って読む本を決めよう。
4. ノーテレビ・ノーゲームで家読をしよう。
5. 年齢に合ったスキンシップをとりながら家読をしよう。
6. 我が家の家読の記録を残そう。
7. 家族の読書体験を語ろう。
8. 家庭文庫を作ろう。
9. 図書館に行こうデーをつくろう。
10. 家読の輪を広げよう。

うちどく.com より

「うちどく」のやり方に特に決まりはありません。基本は、“読んだ本について家族で話す”ということだけです。それぞれの家庭の事情にあわせて、習慣的に本をめぐる会話を楽しむ。同じ本を読めば会話がいつそう盛り上がります。決まりはありませんが、「うちどく」のすすめ方として参考にしてください。

想い ～家族へ・友だちへ～



ノエル先生としあわせのクーポン
 シュー・モルゲンステルン／作
 宮坂宏美・佐藤美奈子／訳
 西村敏雄／絵 講談社 2009年
 ねぼうする券、宿題をなくす券、
 うそをつく券…ビックリクーポンを
 配り、人生を楽しむヒントを
 伝えた先生の物語。家族や友人
 達に「どんな券が欲しい？」と
 聞いてみよう。



ぼくち戦争
 村上しいこ／作
 たごもりのりこ／絵
 ポプラ社 2008年
 「いいかげんにしてよ！」姉
 ちゃんが怒る。「わしを、年よ
 りあつかいするな！」おじい
 ちゃんが怒る。どうして最近、
 僕の家族はケンカばかりするの
 かな？家族の心をつなぎなおす
 物語。

作品	作／訳／絵	発行年	出版社
大きな森の小さな家	ロライガ・ワグナー／作 ガス・ウルフ／絵 恩地三保子／訳	2002	福音館書店
「リベンジする」といつは言った	朝比奈蓉子／著 スカイエマ／絵	2011	ポプラ社
走れメロス	太宰治／文 竹内通雅／絵 齊藤孝／編	2009	ほるぷ出版
りこうすぎた王子	アドリュー・ラング／作 福本友美子／訳	2010	岩波書店
五体不満足	乙武洋匡／作 武田美穂／絵	2000	講談社
銀河鉄道の夜	宮沢賢治／作 ヤスダズズヒト／絵	2012	角川書店
イスカンダルと伝説の庭園	ジョアン・マウジズバルト／作 アバル・カゲルス／挿絵 宇野和美／訳	1999	徳間書店

世の中・人とのかかわり



しごとば シリーズ (1~4)
 鈴木のりたけ／作
 ブロンズ新社 2009~2012年
 将来は何になりたい？プロ野
 球選手？宇宙飛行士？では、
 この本を見てごらん。いろい
 ろな仕事のコツや工夫、おも
 しろさが絵で見てわかる楽し
 い本です。



**ササfras・スプリングスの
 七不思議**
 ベティ・G.バーニー／作 マホ・アキ／絵
 清水奈緒子／訳 評論社 2009年
 親子で山梨の七不思議を探して
 みませんか？ヒントは、この本。
 少年が世界七不思議に匹敵する
 地元の不思議を探し出し、旅行
 切符を手に入れるまでを描いた
 物語です。

家族と楽しもう♪



**野菜で食育!
 おいしいスイーツ (1~4)**
 柿沢安耶／監修・著
 岩崎書店 2010年
 親子で野菜スイーツ作りにチャ
 レンジしてみませんか？例えば、カ
 ボチャモンブラン、ショウガマド
 レーヌはいかが？おいしい野菜の
 見分け方や栄養について学ぶこ
 もできます。



どうぶつゆうびん
 もとしたいづみ／文
 あべ弘士／絵
 講談社 2004年
 インドソウから郵便です！この本は
 人間からソウやサイなど23種類の動
 物に宛てた手紙と返事を紹介した本。
 親子で動物に聞きたい、伝えたい、
 お願いしたいことを考え、手紙を書
 いてみませんか？

作品	作／訳／絵	発行年	出版社
昭和のくらしがわかる事典	早川典子／監修 造事務所／編集・構成	2010	PHP研究所
百人一首大事典	吉海直人／監修	2006	あかね書房
古事記物語	福永武彦／作	2000	岩波書店
イギリスとアイルランドの昔話	石井桃子／編・訳 J.D.バトン／画	2002	福音館書店
少年探偵1 怪人二十面相	江戸川乱歩／作	1998	ポプラ社
戦国武将群雄ビジュアル百科	二木謙一／監修	2009	ポプラ社
元気が出る日本人100人のことば シリーズ1~5	晴山陽一／監修	2012	ポプラ社

スポーツ・冒険



チームふたり
吉野万理子／作 宮尾和孝／絵
学研教育出版 2013年
卓球部でダブルスのパートナーになったのは、6年生の大地と5年生の純。二人が実力の差を乗り越え、互いにフォローしあう本当の「チームふたり」になるまでを描いたスポーツ小説。



獣の奏者 (1~8)
上橋菜穂子／作 武本糸会／絵
講談社 2008~2011年
母の生き方に憧れ、獣ノ医術師をめざすエリンの波瀾万丈の人生を描いたファンタジー。読んだ後に、エリンが最後に選んだ生き方を「どう思う？」と家族に聞いてみよう。

作品	作／訳／絵	発行年	出版社
ライオンと魔女	C.S.ルイス／作 Pauline Baynes／画 瀬田貞二／訳	2005	岩波書店
ポリッセーナの冒険	ビアンカ・ピッツォルノ／作 クエティン・ブレク／絵 長野徹／訳	2004	徳間書店
二年間の休暇(上・下)	J.バルヌ／作 太田大八／画 朝倉剛／訳	2002	福音館書店

戦争・平和



ぼくの見た戦争
高橋邦典／写真・文
ポプラ社 2003年
世界各地で続く戦争。そこでは何が起きているのでしょうか？建物が破壊され、体と心が傷つき、時には命も消える…報道カメラマンが、写真でリアルに伝える戦争の現実。



ガラスのうさぎ
高木敏子／作 武部本一郎／画
金の星社 2005年
空襲の後は、町中がれきの山。母と妹は行方がわかりません。家の焼け跡には溶けてぐにゃぐにゃになったガラスのうさぎが転がっていました…。小学校6年生の敏子の戦争体験を描いた物語。

自然・科学



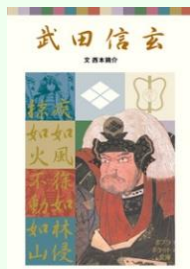
赤ちゃんが生まれる
ニルス・ムエルニエ／作
中島さおり／訳 杉本充弘／監修
ブロンズ新社 2007年
「俺が生まれた時のこと教えて！」なんて恥ずかしくて聞けない年齢の君におすすめ。いつ君の命がママの体に宿り、手や足ができて、この世に誕生したかが、リアルなイラストでよくわかる本。



ビッグバン＆ブラックホール
沼澤茂美／著 脇屋奈々代／著
誠文堂新光社 2009年
宇宙の始まりは小さかった？ブラックホールって？有名なインシュタインの理論はどんな考え？宇宙の謎について詳しく知りたいがわかりやすい本が欲しい、という親子におすすめの一冊。

作品	作／訳／絵	発行年	出版社
あなたが世界を変える日	セヴァン・ガリス＝スズキ／著 マサケイ倶楽部／編・訳	2003	学陽書房
アラスカたんけん記	星野道夫／文・写真	1990	福音館書店
絵ときゾウの時間とネズミの時間	本川達雄／文 あべ弘士／絵	1994	福音館書店
地球のかたちを哲学する	ギヨーム・デュプラ／文・絵 博多かおる／訳	2010	西村書店

ふるさと



武田信玄
西本鶏介／文
ポプラ社 2006年
山梨の偉人、武田信玄の生き方がわかる伝記を読んでみませんか？風林火山の旗の意味、上杉謙信との一騎打ちで有名な川中島の合戦の様子も知ることができます。



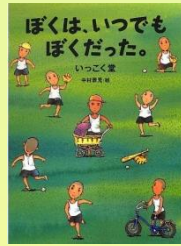
富士山の大研究
江藤初生／著
PHP研究所 2004年
世界文化遺産登録が決定し、注目される富士山。どうして美しい形の山になった？富士山は噴火する？親子で富士山の基礎知識を学び、世界に発信してみませんか？

県民の方からの オススメ本です

子どもたちに、また、ご家族で読んでほしい本として
ご紹介のあった作品の中から、
5作品を紹介させていただきます。
(紹介文は県民の方が考えてくださいました。)

「ぼくは、いつでもぼくだった」
(いっごく堂／著 中村景児／絵 くもん出版)

いつも明るい腹話術師のいっごく堂さんは、子どものころいじめにあい、深く傷ついたそうです。しかし、そういう体験から誰かを喜ばすことができたらしいという気持ちから、今のいっごく堂さんがあるそうです。
有名な方の子どもの頃をのぞいてみませんか？



「ともだちは海のにおい」
(工藤直子／作 長新太／絵 理論社)

この本は、私が小学生のころ大好きだった本です。いるかとかじらの他愛のないやりとりが、なぜか心を落ち着かせてくれます。
海の潮のにおいや波の音が本から聞こえてくるようでした。
みんなで楽しんでください。



「ポッコちゃん」
(星新一／著 新潮文庫)

読書をあまりしない人でも、ショートショートというジャンルで読みやすく、星新一の世界に入り込めます。
子どもの頃、星新一の作品を読んだことのあるお父さん、お母さんもいるのでは？
今度は、みんなでどうですか？



「ハッピーバースデー
～命かがやく瞬間～」
(青木和雄／作 加藤美紀／画 金の星社)

母親に愛してもらえず、自分らしく生きてこられなかったあすか。声を失ってしまったが、みんなの支えで自分を取りもどすお話です。
ぜひ、親子で読んでください。



「チェンジング」
(吉富多美／著 金の星社)

主人公の男の子は、いじめられて声をなくしてしまいましたが、ある家にたどり着き、そこから人生が変わっていく、とても感動するお話です。
ぜひ、家族で読んでください。



☆家族で うちどくクイズに
チャレンジしてみよう!

<http://www.pref.yamanashi.jp/shakaikyo/shinakoko/uchchidokupanfureto.html>

- ◆平成26年7月
- ◆編集 「家読100選」選定委員会
- ◆発行 山梨県教育委員会 社会教育課
〒400-8504 甲府市丸の内1丁目6番1号
TEL 055-223-1773 FAX 055-223-1775
<http://www.pref.yamanashi.jp/shakaikyo/index.html>

